
全ての、全ての。

林檎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

全ての、全ての。

【Nコード】

N4853B

【作者名】

林檎

【あらすじ】

あらすじは特にないです。詩っばいです。短いので、読んでみてもらえたら嬉しいです。

彼女は言った。

『神様の事を考えるのはもう疲れた』と。

彼女は言った。

『頑張っても頑張っても、そこには何も無い』と。

『お金の価値など、変わりすぎて分からない』と。

彼女は疲れていた。

『夕方は一番寂しい』とうなだれた。

彼女は泣いた。

神様からの罰を怖れて泣いた。

『しょうもない人間なのだ』と。

彼女はそのまま夜の街へ消えた。

彼は言った。

『愛していると言ってくれ』と。

彼は言った。

『抱きしめてくれ』と。

彼は言った。

『もっと強く抱きしめてくれ』と。

彼は生きる意味を探していた。

彼は煙草を吹かしながら、ぼんやりと夕日を眺めていた。

彼は泣いた。

『本当は泣くにも疲れているのだ』としゃくりあげた。

彼もまた、そのまま夜の帳へと消えていった。

神は言った。

『私は全ての罪を許そう』と。
神は言った。

『私は全ての人間を、ここで静かに待とう』と。
神は、だけど全ての人間を救いはしなかった。

ある子供が言った。

『大人になったらどうなるの?』と。
ある子供が言った。

『自由なんでしょう?』と。

『楽しい世界なんでしょう?』と。

先生が言った。

『清く正しく美しく』と。

先生が言った。

『全ての物事には終わりがあある』と。

『貴方はまだ若いのだから』と。

私は言った。

『私は全ての人間を救おう』と。

私は言った。

『私は全ての人間の悲しみを取り除こう』と。

『生き急ぐ人々をなだめ、立ち止まる人々を抱きしめよう』と。

私は言った。

『あなた達を愛しましょう』と。

（後書き）

感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4853b/>

全ての、全ての。

2010年10月11日23時14分発行